

薬学部・薬科大学 訪問

Report 12

東邦大学薬学部 医療薬学教育センター・臨床薬学研究室

話し手：吉尾 隆 教授

Takashi Yoshio

薬学部をはじめ、医学部、理学部、看護学部を擁する東邦大学。薬学部は1979年に全国に先駆けて初の医療薬学系大学院を創設するなど臨床で活躍する薬剤師の育成に取り組み、3つの医学部附属病院と協力して教育が行われています。今回は、30年間病院に勤務していた経験を活かし、母校で教鞭をとる吉尾隆先生にお話を伺いました。



習志野キャンパスにある「騎兵第十三聯隊発祥乃地」碑



吉尾隆教授(前列中央)と臨床薬学研究室の皆さん

学校メモ

- ◇大正14(1925)年 帝国女子医学専門学校を設立
- ◇昭和5(1930)年 帝国女子医学薬学専門学校へ改称
- ◇昭和16(1941)年 帝国女子理学専門学校を設立
- ◇昭和24(1949)年 東邦薬科大学を設立
- ◇昭和25(1950)年 東邦大学薬学部へ改称
- ◇平成18(2006)年 薬学科6年制設置
- ◇1学年の定員220名。現在の在校生は学部1,445名、大学院66名(内2012年4月の入学人数は学部266名、大学院修士課程20名)、4年制博士課程6名

女性の医学教育の充実のために創立

東邦大学は、女性の医学教育の充実のため、額田豊、額田晉兄弟により1925年に帝国女子医学専門学校が創立されたことが始まりです。1930年には帝国女子医学薬学専門学校が設立され、1950年に東邦大学薬学部と改称されました。

薬学部は太平洋戦争ののちにこの地(習志野)に移転してきました。習志野キャンパスは、司馬遼太郎の「坂の上の雲」に登場する、日露戦争で有名になった秋山好古で知られる習志野騎兵団が置かれていた跡地にあり、キャンパス内には司馬遼太郎本人自筆の石碑が建てられています。昔は習志野騎兵隊の馬小屋を校舎に使っていたそうで、私が入学したころも部室として使われていました。

現場の臨場感を伝える臨床教員

本学では1クラス10名の担任制を採用していて、学生と教員との距離が近いのが特徴です。学習や就職など学生が担当教員を頼って相談し、面倒見がよい大学といわれています。

臨床薬学研究室の教員は、それぞれに病院や薬局での経験を持っています。私の専門は精神科領域で、学生たちにとってこれまで学ぶ機会が少なかった領域ですが、少しずつでも理解してもらうように努めています。精神科領域の知識に接し、理解が広がったことにより、精神科に関わる仕事がしたいという学生が徐々に増えているのは嬉しいことです。

臨床現場の臨場感や事実は経験者しか教えられないことです。現場で活躍できる薬剤師を育てていきたいという思いを持って母校に戻りました。生きた新しい医療を伝えていくために、私はいまも週に一度は病院での研究を継続しています。

命に関わる医療人として意識を持った薬剤師に

私は講義においても、病院・薬局・製薬企業どこに就職しようとも、薬剤師は人の命に関わっていることを考えて欲しいと伝えています。薬を扱っているときは必ず薬の向こう側にいる患者さんをみて仕事をしないとイケないと思います。また、薬剤師とは人と接する仕事だということも改めて認識して欲しいものです。6年制薬学教育では、コミュニケーションスキルの教育にも力を入れていくべきと考えています。

薬剤師を目指す学生にとって、先輩の経験から学べることが多くあります。現場で活躍されている卒業生の方々には、ご自分の経験を後輩のために発信し、また世の中にアピールして欲しいと思います。そして薬剤師が薬物治療のリスクマネージャーであることが浸透すれば、患者さんからの信頼も大きくなることと思います。